



技術を味方に
挑戦を続け、
ものづくりを革新する
世界の“ものづくり”を
力強く支える
エンジニアになろう。



文系・理系問わず、“挑戦心”を持った方をお待ちしています

会社情報はこちら



Suzuden スズデン工業株式会社

Suzuden's Field

～私たちの事業領域～

01

FA事業

生産現場の声を直接聞くことにより 生産ラインの効率と生産性の向上を図ります。

近年におけるグローバル競争の激化により生産現場では抜本的な改革が求められている中、その手段の一つがファクトリーオートメーション(FA)です。当社ではこれまで長年にわたる電気事業に携わってきておりますが、機械部門を新設することにより機電事業として装置設計から製作、そして電気制御まで一貫して自社で立ち上げることが可能となりました。工場全体の業務効率化を積極的に提案しながら生産現場における課題、ニーズをカスタマイズしユーザー様に特化したライン作りをメカ・電気両面よりサポートいたします。



03

制御盤事業

工場で使用される制御盤の設計・製作を行っています。設計部には製造を経験したスタッフも多く、現場を知っているからこそこの視点で、安全性はもちろん、現場での使い易さを考慮した、お客様のニーズに寄り添う盤を一から設計。これまでスズデン工業が取り組んできた幅広い業績により、防水、防爆などの特殊な制御盤の製造技術も受け継いでいます。各部門の密な関係によって、最初の打合せから設計、製造、施工までを一貫してサポートできることを強みとしており、新工場立ち上げなど、スタートアップの支援も数多く手掛けています。基本的には、一人が一つの制御盤を担当するため、完成して正確に作動した時の達成感や責任感が、やりがいに繋がります。

設計と製造の確かな関係で、 複雑なニーズを汲み取り、 形にする。

長年積み重ねてきた電気での経験に加えメカへの取り組みを プラスし生産ラインのセットアップメーカーとしての確立を目指します。

02

機電事業



04

IoT事業

機械や設備をより安全で快適に使用できるシステムを提案しています。自社としては、手元のスマートフォンやタブレット端末で遠隔操作や情報確認ができるソリューションシステム「Remoss(リモス)」を開発。バーコードやID識別などを使用したシステム開発の経験を活かし、アプリケーション開発の領域までも技術を広げています。また、個別のマシン監視を行い、データを収集して大規模な工場の一括管理をサポートする「SCADA」や、日々の生産状況のデータ収集を可能にする「モニターアンドン」などにも対応。自動化とともに必要となる点検作業をIoTでソリューションすることで、機器トラブルを未然に防ぎ、作業効率アップにつなげる、期待が高まる事業です。

インターネットを駆使した 安心かつ効率的な工場管理の サポートに尽力。

電装部として機械配線からプラント電気工事、防爆電気工事まで電気設備に関する工事の業務内容はさまざまです。携わる業界は幅広くチャレンジ精神を軸に築き上げてきた豊富な経験とノウハウを生かし設備のプランニングを一括して担えるのが一番の強みでありやりがいでもあります。

電気設計においては新規プランニングからロボットに至るまで、さらには設備リニューアルで起こる問題をユーザー様とヒアリングしながら解決いたします。

機械部門においてはオーダーメイド追及、綿密な打ち合わせと提案によりユーザー様が欲しかったものを作る設計、迅速な対応と機動力を武器に問題解決型の製作を行います。

Suzuden's Soul

～私たちの信条～

“しっかり前を向いて”

努力しても必ず実るとは限りません。
しかし、努力しなければ現実のものにはなりません。
日々の努力こそが私たちの前進につながるのです。
未来へ向かって、・・・まだゴールは見えません。
だからこそ、将来は無限。だと思えます。
どんな時も、「しっかり前を向いて」
今日まで、そして未来の人たちにつなげます。
私たちが最も大切にしている信念、信条です。
私たちは、付加価値を高める製品を提供し、
お客様に喜んでいただけることを目標にしています。

“道を拓き、未来を描く”

私たちの掲げる会社スローガンです。
当社の仕事は、電気設計、制御盤製作、電気工事です。
今までの仕事のモデルは大切にしつつも、これからは
新規事業にも目を向け、挑戦していく姿勢を持つことが
必要だと考えています。
既存の枠にとらわれることなく、果敢に挑戦し、
自ら新規事業という道を切り開いていく。
そうすることで、今後のビジョンが描けるようになる。
そのような決意表明を、この言葉に込めています。

代表挨拶

一人ひとりの考えを原動力に、いつの時代も必要とされるものづくりを

私たちは、チームで仕事に取り組んでいます。「どんな仕事か」「どんな会社か」という一人ひとりの意志を尊重し、ものづくりの過程において個々の能力が大いに活かされ、目的を果たした際の達成感を強く感じられる点が、中小企業の魅力です。そして、同じ目的に向かって協力していくためにも、会社としてひとつの「コンセプト」を持つことが大切であると考えています。
インターネットやSNS、AIなど、新しいと考えられていたものが瞬間に生活に浸透し、“普通”になっていく現代。私たちの市場も例外ではなく、急激な

技術革新、市場ニーズの多様化などにより、製品ライフサイクルの期間が短縮していく傾向があります。そんな時代だからこそ、常に「今、何が求められているのか」を考える力を重要視しています。
1980年の創業から、スズデン工業は「人」を原動力に歩んできました。時代の変化に臆せず新しいことに挑戦する姿勢を貫き、月日と共に培った技術を伝承することで、人が人を育てています。ものづくり同様、会社づくりにおいても考え続けることで未来を見据えた成長をめざします。

代表取締役 鈴木 栄二

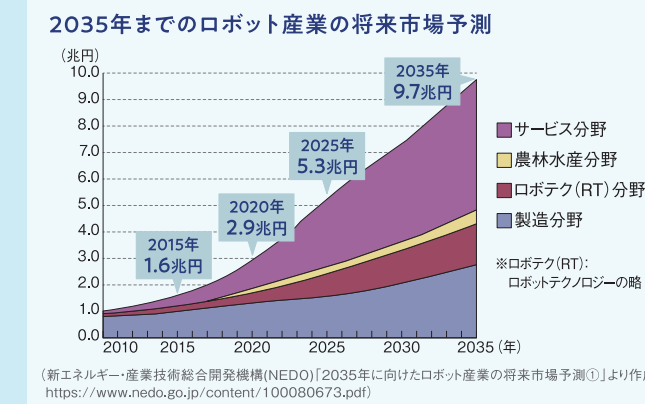
沿革

昭和55年4月	鈴木電気工業所 設立	平成16年1月	建設業許可取得 官庁事業に参加	平成30年3月	IoT、Remoss (リモートモニタリングシステム)の開発
昭和62年6月	愛知県知立市桜木町桜木66番地3 新社屋完成	平成18年9月	社名変更 有限会社 鈴木電工から スズデン工業株式会社へ	平成30年4月	自動ドリルセンター(仮名) 名古屋工業大学と共同開発
平成元年7月	社名変更及び法人化 鈴木電気工業所から 有限会社 鈴木電工へ	平成25年4月	タイ事業所開設	平成30年8月	ISO9001取得
平成10年4月	愛知県知立市来迎寺町広街道15 新工場完成 本社を新工場へ移転する	平成29年10月	金属切断機(バイクスライダー) 製造、販売	平成30年9月	技術開発センター完成
				令和 2年2月	SDGs 宣言
				令和 4年12月	愛知県知立市西町本田65-1 新工場完成 本社を新工場に移転する

Suzudenの強み

急成長を続けるロボット市場の将来性

労働人口の減少や人件費の高騰、品質向上ニーズの拡大などを背景に、産業用ロボットの年間販売台数は世界的に増加傾向。今後もこの流れは続き、世界のロボット市場は拡大する見通しです。技術が向上し、ロボットに代替できる職業は消えていくと言われるなか、そのロボットの制御、導入支援を行う私たちの仕事の需要は高まり、重要な役割を担うと考えられます。



1980年の創業以来培ってきた経験と技術力

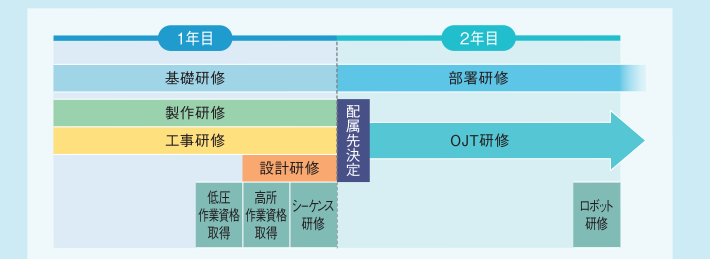
創業以来、新しいことにも臆せず挑戦していくスタイルを貫き、実践を伴い身につけてきた知識と技術力があります。ものづくり産業が盛んな愛知県を拠点に、経験と歴史を積み重ね、信頼を築き上げてきました。移行行く時代のニーズを捉え、設計部門、製作部門、工事部門が連携し、自社一貫体制で対応できることを強みとしています。

未来を見据えたグローバル展開

電気工事を軸に、幅広いニーズに応じてきた施工実績は、日本を飛び越え、世界各地で評価していただいています。アジアを中心に、ヨーロッパ、地球の裏側のブラジルまで、スズデン工業の技術を必要といただける場所へ足を運んでいます。その経緯から、2013年にはタイ事務所を開設しました。

実践的な研修を通して 一人前のエンジニアをめざせる研修制度を用意

文系出身者も数多く活躍するスズデン工業では、入社後に一から技術を身につけられる育成制度があります。1年目は道具の使い方やネジのしめ方などの基本的なことを学ぶ研修期間を設け、各種資格取得も応援。2年目からは配属部署が決まり、先輩と一緒に現場に出て、実践的に技術を磨いていきます。



Suzuden's data

～データで見るスズデン～

従業員数



(22.02.01時点)

社員同士の距離が近く、一人ひとりの能力が発揮できる職場です。

男女比



チームとしての意識を持ち、男女問わず活躍しています。

これまでの海外出張先

アメリカ・インド・インドネシア・カナダ・
韓国・タイ・台湾・チェコ・中国・フィリピン・
フランス・ブラジル・ベトナム・マレーシア・
ミャンマー・メキシコ・ロシア...etc

スズデン工業の高い技術力は、世界各国で評価されています。

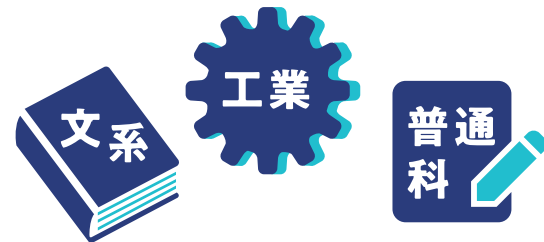


平均年齢



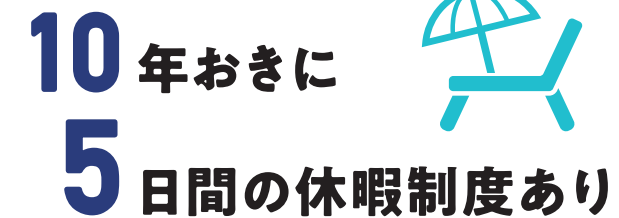
幅広い年齢層が集まっており、知識や技術を共有しています。

出身専攻学科



専攻学科を問わず、やる気のある人なら誰でも大歓迎です。

リフレッシュ休暇



しっかり働き、しっかり休むことを大切にしています。

レクリエーション



会社行事はアクティブなレクリエーションが多く、部署を越えて交流します。

売上高



近年の産業用ロボット市場の拡大に伴い、年々増加傾向です。

国内・海外拠点数



愛知県に本社を構え、2013年にタイ事業所を設置しました。

近年のイベントの様子です



過去実績

- 三菱電機とタイにてSIパートナー契約
- 国内外のイノアック系 工場設備の電気工事
- ブラザー工業 IoTベンダー契約
- 大手製薬会社のクリーンルーム
- 国内外のトヨタ系 工場設備の電気工事
- など

ON & OFF

スズデン工業のスタッフは、仕事に打ち込む「ON」の時間と、プライベートの「OFF」の時間をどのように過ごしているのでしょうか？

01 製作部のON&OFF

高橋 真里奈さん 製作部 製作課 2021年入社

主に工場で使用される工作機械などの制御盤を製作している部署です。設計部や外注から渡された図面を元に、部品や配線を組んでいく仕事をします。制御盤の組み立てが完了したら、どの材料をどれだけ使用したかを記入する材料表の作成と、手書きで工数表も作成します。

ON

▶ ミーティング

製作前にミーティングを行い、割り振られた担当図面やスケジュールを確認します。

▶ 図面内容の確認

設計部から依頼された制御盤図面の内容をチェックし、不明点があれば担当に確認します。

▶ 設計部への追加発注

新しい部品や、在庫部品が足りないときは設計部へ追加発注を行います。部品が確認でき次第、製作を開始します。

▶ 製作開始

制御盤に取り付ける部品や電線などを準備し、図面通りに製作していきます。先輩に確認しながら作業を進めます。

▶ 品質管理

図面を確認しながら配線作業をし、品質管理のチェックを受けます。配線や仕様の間違いないか、綿密な検査をします。

▶ 材料・工数管理

納品する際に使用材料を確認するための材料表の入力や、日々の工数管理を行います。



02 工事部のON&OFF

遠藤 海人さん 工事部 電装課 2021年入社

主に工場内の配線ルートの製作や、制御盤の設置・施工を行う部署です。設計部からあがってきた図面内容を確認し、必要な電線の長さを割り出し、制御盤の中身や配線ルートを設計します。見積もりにOKが出れば実作業に入ります。施工期間内にしっかりと仕事を納められるように全員で協力しています。

ON

▶ 担当割り振り

営業や他部署が受注した案件内容を確認し、担当者を決めます。作業規模によりますが主に1人1現場を担当します。

▶ 現場下見

実際に現場へ赴き、制御盤を置く場所や配線ルートのイメージを膨らませて、設計部へ図面制作を依頼する為の打ち合わせをします。工事で必要な材料や資材の購入準備と見積もり作成を同時に進めます。

▶ 施工開始

図面や見積もりの確認が取れたら、現場へ向かい施工を開始します。工程管理表に基づき、期間内に工事を完了させます。

▶ 危険予知

現場ごとに注意する点や、作業内容に危険が伴う場合があるので、毎朝「KY(危険予知)活動」を行い、作業員全員で安全を再確認しながら丁寧に作業をします。特に電線の端子方向を間違えて接続してしまうと大事故に繋がるため細心の注意を払います。

▶ 配線作業

配線ルートをチェックしながら、制御盤やラックの中に電線を接続していきます。一通り接続が完了したら、テスターで接続不備がないか確認し、電源をつけて作業終了です。



OFF 家族とのふれあいの時間を大切にしています！



休日は家族と過ごすことが多く、ショッピングに行ったり動物園などへ出かけたりしています。最近では小学生の娘とお菓子作りに挑戦するなど充実した時間を過ごしています。

OFF ツーリングがてら魚釣りなどを楽しんでいます！



趣味が多いのでいろんなところへ遊びに行きます。特にツーリングが好きで、よく岐阜県の方に出掛けては川で釣りをしたり、魚を焼いて食べたりと自然を満喫しています。

03 技術部のON&OFF

森 大晃さん 技術部 電気設計課 2022年入社

制御盤の設計・図面作成を行っている部署です。担当を部内で割り振りし、必要があればクライアントと打ち合わせをします。制御盤の図面を作成したら製造部へ製作依頼をし、完成後に検品を行います。不備がなければ現場へ赴き、工事部と連携して作業を行い試運転までを受け持っています。

ON

▶ 打ち合わせ

営業部や工事部から来た案件ごとに仕事内容を確認します。新規案件はクライアントと打ち合わせをし、要望や作業内容を擦り合わせます。

▶ 図面の作成

3DCADなどのソフトを駆使し、図面を作成します。既存案件の場合は基盤の仕様変更だけをすることもあり、元図面を修正する作業を行います。

▶ 図面チェック

図面の制作が完了したら技術部内で2名以上のチェックを受けます。細かいところまで確認し、ミスをなくします。

▶ 製作部へ展開

図面のチェックが完了したら製作部へ制御盤の製作を依頼します。必要な部品が欠品している場合は発注を行います。製作中にクライアントから仕様変更依頼が来る場合も臨機応変に対応します。

▶ 試運転確認

完成した制御盤のクライアントチェックを受け、不備がなければ現場へ赴き取り付け作業に立ち会います。作業が予定より早く終わったときなど直接クライアントから「ありがとう」と言われることがあり、やりがいに繋がっています。



OFF リフレッシュタイムを満喫しています！



入社してすぐの頃は、現場作業などの慣れない仕事で毎日クタクタになって、休日は寝ていることが多かったのですが、今では自分の時間を持つようになりました。ゲームをしたり、家族との時間を大事にしています。

04 技術部のON&OFF

安部 貴之さん 技術部 機械設計課 2021年入社

金属加工や機械部品などの設計・図面作成・施工を行う部署です。設計部からより専門的な機械部品を扱う部署として新設されました。営業から回ってきた情報を元に現場へ下見に行き、見積もりの作成、本格的な機械の設計を3DCADなどのソフトを使って行い、部品の製作や取り付けまでをトータルに行っています。

ON

▶ 打ち合わせ・現地下見

営業部から依頼された案件ごとに担当をきめ、クライアントと具体的な打ち合わせをします。依頼内容の擦り合わせや現場の下見をしながら、見積もり用のスケッチをその場で作成するときもあります。

▶ 見積もり作成

現場で使用する部品の調査や、発注数などを見込んだ見積書を作成します。実施設計を同時に進めつつ、部品の発注準備を行います。

▶ 部品・加工業者の選定

見積書を提出する際になるべくコストを抑えて部品の発注できるように、業者選定にも配慮しています。

▶ 設計

見積もりが通り次第、実施設計を行います。部品の設計は3DCADなどを駆使して作成します。画面上で立体設計をしてから実際に組み立てるときに不備がないかを確認します。

▶ 部品加工

設計を行う際に、オーダーに沿った部品を自社内で加工することがあります。素材は機械だけでなく、金属・樹脂・ベント板など多種多様です。

▶ 組み付け作業

部品が完成したら現場で取り付け・据え付けを行います。案件によっては県外への出張などもあります。



OFF 最近はソロキャンプに夢中です！



友達や家族とアクティブに過ごすことが多いです。マイブームはキャンプで、バイクに乗って静岡県まで行き、ソロキャンプを楽しみました。今度は冬のキャンプしてみたいと思っています。



スズデン工業のスタッフに
会社や仕事について聞いてみました。
実際に働いているからこそリアルな回答をご覧ください。

Q

会社の雰囲気は？

仕事に対して
まっすぐな人が
多い

挑戦心が旺盛で
活気がある

アットホーム

無益な会議や
飲み会がなく
ON・OFFがはっきり

多様な年齢層の人と
仲良くなれる

相談しやすい

休憩時間は
和気あいあい

社長や役員との
距離が近い

Q

やりがいを感じる瞬間は？

自分の仕事が、
仲間の仕事に
繋がっていると
実感する時

お客様に
感謝の言葉を
いただいた時

1日の仕事を
無事に終えた時

会社のシステムを改良し、
お客様の業務の効率化に
貢献できた時

一つの案件が完了し、
設備が動いているの
を見た時

難しい案件に
取り組んでいる時

Q

スズデン工業で働く魅力は？

自分が会社を支える
主要な柱の一本だと
実感できる

意欲ある仲間たちに
囲まれて仕事ができる

各部署の仕事を
経験して
スキルアップできる

さまざまなことに
挑戦できる環境

幅広い電気知識が
身につく

自分の意見を
発信する場がある

自分の携わった機械が
何十年と動き続け、
日本のものづくりを
支えていること

